

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 限局性皮質異形成に対する手術予後予測スコアリングシステムの開発

【研究責任者】 脳神経外科 医師 飯島圭哉

【本研究の目的及び意義】

本研究の目的は、限局性皮質異形成の術前検査結果から術後の発作消失率を予測するスコアリングシステムを確立し、医師が患者の手術適応を判断する際の一助とすることです。これにより、適切な手術適応、および頭蓋内電極留置など侵襲性の高い検査の適応を、科学的根拠を持って行うことが可能になります。不要な頭蓋内電極留置術や効果が期待できない切除術を削減する、適切な手術による発作消失患者が増加するといった点で有用な研究です。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

1997年1月1日より2022年6月30日までの間に、脳神経外科で手術加療を受け、病理診断が「皮質形成異常」であった方。

利用する試料・情報等

情報等：診療録(年齢、性別、診断名、発作転帰、MRI、FDG-PET、SPECT、脳波、脳磁図、神経心理検査の結果)

研究期間

2018年倫理審査承認後より2023年6月30日まで

【共同研究機関】

Tel Aviv Medical Center

東京大学

2021年7月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 脳神経外科 氏名 飯島圭哉

電話番号

e-mail: iijmakeiya@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu@ncnp.go.jp